



**株式会社松尾研究所とAI利活用を通じた中小企業支援に関する
基本合意を締結**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）は、株式会社松尾研究所（本社：東京都文京区、代表：川上 登福、以下松尾研究所）と、AI利活用を通じて日本の中小企業の成長支援を推進することを目的とした基本合意を締結しました。商工中金と松尾研究所は継続的なパートナーシップを結び、中小企業の皆さまの生産性向上の実現のため、データ利活用やAI導入支援に取り組んでまいります。

1. 資本・業務提携の背景と目的

- ・日本の中小企業は、人材不足、生産性の停滞、デジタル活用の遅れなど、構造的課題に直面しています。これらの課題解決に向け、AIを中心とした先端技術の実装は、企業にとって競争力を高めるうえで、極めて重要なテーマとなっています。
- ・商工中金は90年にわたり、中小企業専門の金融機関として、全国の中小企業の皆さまをサポートしてきました。今回、AIの社会実装に取り組む松尾研究所と、互いの強みを掛け合わせることで中小企業の課題解決に資する実効性の高いAI利活用基盤を構築できるとの認識で一致し、本基本合意の締結となりました。

2. 提携の内容

- ・本基本合意のもと、商工中金と松尾研究所は、日本の中小企業にAI利活用を通じた価値提供を実現するため、先端技術と金融機関としての企業ネットワークを掛け合わせた共創モデルの構築に取り組んでまいります。
- ・具体的には、商工中金グループや中小企業・中小企業組合などのステークホルダーに関するデータを、価値ある情報に変換するAIデータ基盤の構築を目指します。企業の潜在力を引き出す新たな支援アプローチの創出、商工中金が長期戦略として掲げる「中小企業経済圏」(※)内の連携・共創を促す仕組みづくりなど、地域経済の活性化にもつながる取組みを幅広く模索し、関係者の皆さまが参加しやすく、価値享受の機会が広がる持続的なエコシステムの実現を目指します。

(※) 中小企業に関わる様々な関係者が“集まり”、“つながり”、“価値が生まれる”ためのオープンな社会

【株式会社松尾研究所の概要】

所在地	東京都文京区本郷4丁目1-4 10F	代表者	川上 登福
業種	AIソリューションの開発事業、AI教育事業	設立	2020年2月